



ごみの減量化と臭い対策には、
「生ごみの水切り」が有効です！

ごみにしない！ 3R推進コーナー

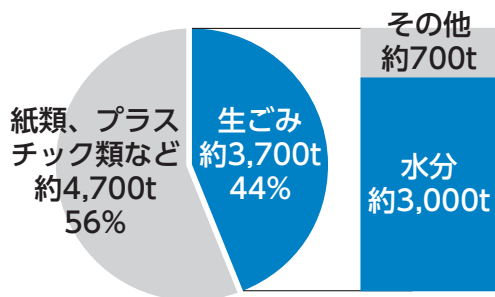
【問合せ】 廃棄物対策課 ☎782・0339

市内の各家庭から、ごみステーションに出される可燃ごみの総量は、年間約8,400 tです。

ごみの減量化の推進に向けて実施している家庭ごみ内容物調査によると、家庭から排出される可燃ごみのうち約44%が「生ごみ」で、重量にすると約3,700 tと推計されます。（令和3年度調査結果）

「生ごみ」の約80%は水分だといわれていますが、可燃ごみとして焼却処分していることから、約3,000 tの水分を焼却しているともいえます。

家庭ごみから排出される可燃ごみの生ごみの割合と水分量



水分の多い生ごみは、焼却するとき余分なエネルギーを必要とし、特に燃料費などの処理経費も多くかかってしまいます。また、生ごみの水分は、腐敗や悪臭の主な原因となります。

「生ごみの水切り」は、ごみの嫌な臭いの低減だけでなく、ごみの減量化につながる有効な対策となります。

家庭での生ごみの水切りのメリット

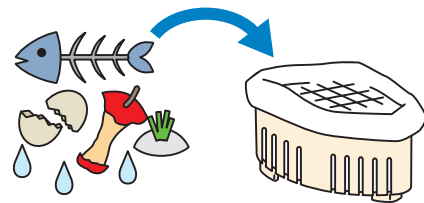
- ・生ごみの腐敗を遅らせ、嫌なにおいの発生を抑えられる。
- ・ごみが軽くなり、ごみ捨てが楽になる。
- ・汚水によるごみステーションの汚れを防げる。

家庭での生ごみの水切りのポイント

①水にぬらさない！

水分の多い調理くずは、三角コーナーやネットを使って水分を切りましょう。

ただし、玉ねぎの皮などで、はじめから乾いているものは、シンク内の三角コーナーなどに入れると水分をたくさん吸ってしまうので、できるだけ別にして、ぬらさずに捨てましょう。



②できるだけ乾かす！

お茶殻、ティーバッグ、スイカの皮など、水分の多いものは、できるだけ乾燥させてから捨てましょう。

③「ぎゅっと」しぼる！

水分を多く含んだ生ごみは、ごみに出す前に、ぎゅっとしぼってから捨てましょう。

ペットボトルやDVDの穴に水切りネットを通して水を絞ると、手を汚さずに効率よく水を切ることができます。



生ごみの水分は、ちょっとした工夫で減らすことができます。ご家庭で簡単にできる「生ごみの水切り」で、ごみの減量にご協力をお願いします。

家庭用生ごみ処理機の購入費助成

電気式生ごみ処理機は、効率よく生ごみを減量することができます。市では、購入費用の一部を助成しています。詳しくは、廃棄物対策課までお問い合わせください。

古着・古布の無料回収の対象に「ぬいぐるみ」を追加しました

市報6月1日号の13ページで、「ぬいぐるみ」は無料回収の対象外としていましたが、回収できるようになりました。リサイクルにご協力ください。